

IR の普及により, ある研究者の研究成果が複数の IR に登録されることが多くなっています。

「同一人物の論文を全て読みたい」 そのためにはどうすればよいでしょうか？

これを実現するためには, 『著者識別子』を利用した『名寄せ』が必要です。

平成 22 年度までは金沢大学の IR で実証実験を行い, 一定の成果を得ました。



作成者注

このページはタイトル印刷用のため, 下半分は空白です。

## 平成 23 年度に行った実証実験

平成 23 年度は、「金沢大学以外の IR」に対して、金沢大学と同様の実験を行ってもらい、プロジェクトの裾野を広げることを目的とした。

### 1 まずは、DSpace を 1.7 にバージョンアップ

DSpace1.6 以上では、各メタデータに典拠データを持たせる機能を標準装備。つまり、著者名典拠機能も標準装備している。

Dspace の登録画面

著者名を記載されている言語で入力。団体著者は姓に入力

姓  
たとえば、山本  
名  
たとえば、太郎  
著者 柴田 正良

著者名典拠の  
検索ボタン

### 2 次に、 識別子の遡及登録

既に登録されているコンテンツに、著者識別子を遡及登録する。

「氏名－識別子の対応表」を基に、一括登録を行う。

Q. 非在籍者（学外の共著者など）の番号も必要？

A. 全員入力できるのが理想ですが、わかる範囲の著者の番号を調べるだけで構いません。  
少しでも多くの識別子を登録し、データを豊かにすることが目標です。

著者名典拠の検索ボタンをクリックすると、典拠先の識別子を著者名で検索し、結果を表示。

検索結果を選択すると自動で入力されるので、登録のたびに手入力の必要なし。

#### 名前典拠検索

"柴田, 正良"の結果: 1 - 2 / 2

##### 1. 検索結果

柴田, 正良: 20201543  
ローカルの値 '柴田, 正良' (名前典拠の値ではない);

新規の著者は  
ここで入力を行う。

##### 2. 選択値(修正可)

柴田  
正良  
20201543  
姓  
名  
典拠コード

##### 3. 処理選択

許可 次の結果を見る キャンセル

典拠先は、  
・ 自機関の IR  
・ 自機関の業績 DB  
・ KAKEN：科学研究費補助金データベース  
などが設定できる。

### 3 そして、crosswalk の改修

## 実験参加大学

平成 23 年度の  
実証実験には、  
5 大学が参加

著者名を記載されている言語で入力。団体著者は姓に入力

著者

姓  
たとえば、山本

名  
たとえば、太郎

junii2 へは、creator 属性として  
URI 形式で抽出する。

```
<creator id="http://rns.nii.ac.jp/nr/1000020201543">柴田, 正良</creator>
```

JAIRO にはこの形でハーベストされる。

機関  
リポジトリ

crosswalk 改修

論文単位の著者識別子をハーベスト

JAIRO

著者識別子で名寄せされ、  
同一著者の論文リストを  
見ることができます！

Dspace のバージョンアップ

自力構築！

Dspace1.6 に改修済

大阪市立大学

北海道大学

InfoLib-DBR を運用中

識別子の遡及登録

crosswalk の改修

## 検討した著者識別子

### 研究者リゾルバーID（RNR-ID）

NII が科研費研究者番号や ReaD の研究者番号をもとに、付与した生涯 ID。（2 つの研究者番号のどちらもない場合は、独自に付与）  
必ずしも、各機関の構成員全員が持っているわけではない。  
科研費研究者番号との親和性が高く、科研費研究者番号を持たない研究者にも独自の番号を付与できる点がメリットといえる。

### 科研費研究者番号

e-rad に登録することで交付される生涯 ID。  
必ずしも各機関の構成員全員が持っているわけではない。  
日本における研究者 ID としては、スタンダードといえる。

各大学で検討した結果・・・  
関西学院大学は「科研費研究者番号」を採用。  
その他の大学は「RNR-ID」を採用した。

## 遡及登録の結果

	遡及した 識別子数	遡及した 著者数	遡及した アイテム数
北海道大学	5,074	823	4,228
長崎大学	16,296	1,175	8,079
奈良女子大学	1,467	193	746
関西学院大学	1,615	228	1,550
大阪市立大学	521	128	521
合計	24,973	2,547	15,124

あなたの大学も  
実験に参加して  
みませんか？



# ワークショップ「研究者と論文を結びつけるために～研究者 ID サミット2～」を開催

平成22年度に続き、平成23年度も研究者 ID サミットを開催しました！



平成24年2月14日(火) 大阪市立大学 学術情報総合センター

## プログラム

「著者の同定・識別について -JAIRO 著者名検索プロジェクトへ-」 蔵川圭(NII)

「著者同定に向けた金沢大学の実験」 守本瞬(金沢大学)

「今年度の CSI 委託事業参加大学による報告」

・DSpace の場合: 澤村俊祐(長崎大学)

・羽ばたけ 著者 ID infoLib-DBR の場合: 中村健(大阪市立大学)

「物質・材料研究機構(NIMS)の事例 : 研究者総覧 SAMURAI における研究者 ID と外部連携」 高久雅生(NIMS)

「フリーディスカッション」

## 今後の課題

- 著者 ID 管理をどのように行うか。  
→ 集中管理 OR 分散管理
- 研究者のプロファイルは個人情報か。  
→ 個人情報保護との関連性が今後問題に？

詳しい開催報告は、以下の URL よりご覧いただけます。

[http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/kura/nayose\\_ws/2011\\_report.html](http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/kura/nayose_ws/2011_report.html)